

横浜町第2期データヘルス計画中間評価報告書

《平成30年度～令和2年度》



令和3年3月

横 浜 町

目 次

第1章 健診・医療・介護データからみた変化	1
【1】死亡率（人口100万対）の変化	1
【2】健診データからみた変化	1
(1) 特定健診受診率・特定保健指導実施率	1
(2) 性別・年代別特定健診受診率	2
(3) メタボ予備群、該当者の状況	3
(4) 健診有所見者状況	4
(5) 生活習慣（問診票）の変化	6
(6) 受診勧奨者の未治療者割合の変化	7
【3】医療費データからみた変化	7
(1) 1人当たり医療費	7
(2) 疾病別医療費割合の変化	8
(3) 生活習慣病の医療費（細小分類別）推移	9
(4) 主要生活習慣病の男女別患者数の推移	10
(5) 糖尿病患者の重症化状況	11
(6) 高血圧症患者の重症化状況	11
【4】介護データからみた変化	12
(1) 要介護認定率・介護給付費の状況	12
(2) 要介護認定者の有病状況	12
第2章 第2期（前期）保健事業の評価・考察	13
【1】第2期（前期）の保健事業の取組	13
(1) 健康課題解決のための保健事業（平成30年度～令和元年度）実施状況	13
(2) その他の保健事業（令和元年度）	15
【2】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進に向けた取組	17
【3】第2期データヘルス計画の短期目標達成状況と評価（アウトプット・アウトカム）	18
(1) 評価方法	18
(2) 事業別短期目標の達成状況と評価	18
(3) 保険者努力支援制度における得点及び評価	22
【4】ストラクチャー・プロセス評価	23

はじめに

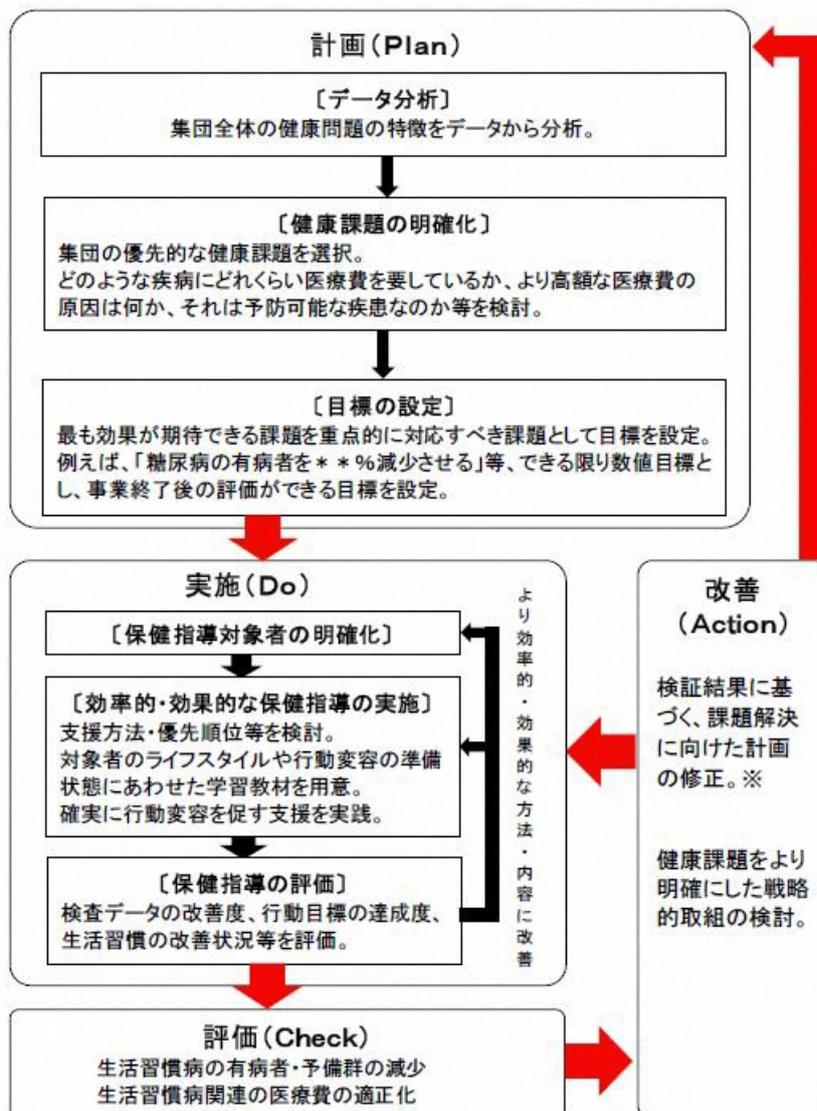
本町では、平成27年度に本町の健康課題を明確にし、「横浜町国民健康保険データヘルス計画」を策定、効果的かつ効率的な保健事業の実施に取り組んできた。

さらに、平成30年度には、第3期特定健診等実施計画策定に合わせて、「横浜町国民健康保険データヘルス計画」を評価、見直しし、第2期横浜町データヘルス計画（平成30年度～令和5年度）を策定したところである。

データヘルス計画では、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施し、疾病の早期発見、早期治療に向けた生活習慣病の予防に努めることにより、将来的には医療費の適正化を目指すことになっているが、第2期データヘルス計画では中間年度となる令和2年度に計画に掲げた目的・目標の達成状況を評価することになっている。

本報告書は、主にKDBデータ等の各指標の変化を分析し、第2期データヘルス計画で掲げた目標の達成状況、保健事業の取組や成果を評価し、まとめたものである。

保健事業（健診・保健指導）PDCAサイクル

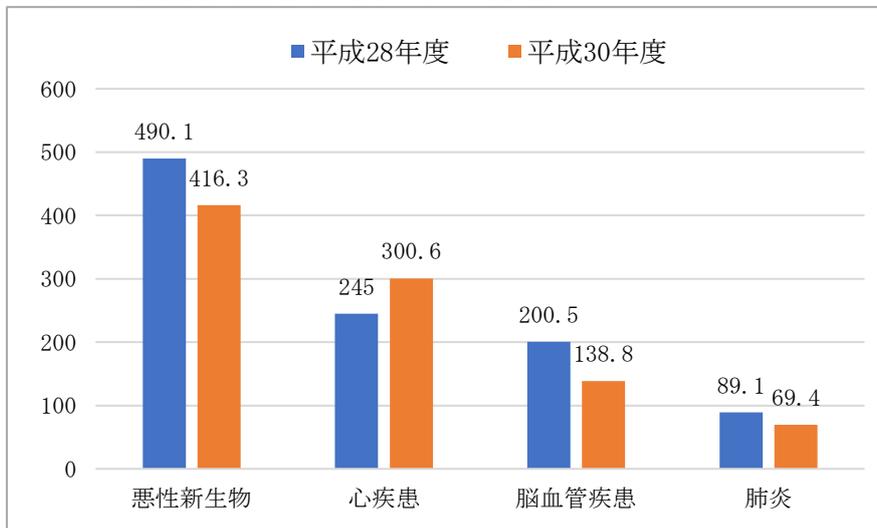


第1章 健診・医療・介護データからみた変化

【1】死亡率（人口100万対）の変化

悪性新生物が最も高いが、やや減少傾向にある。
心疾患の死亡率については増加傾向にある。

図表1 横浜町の死亡率（人口100万対）



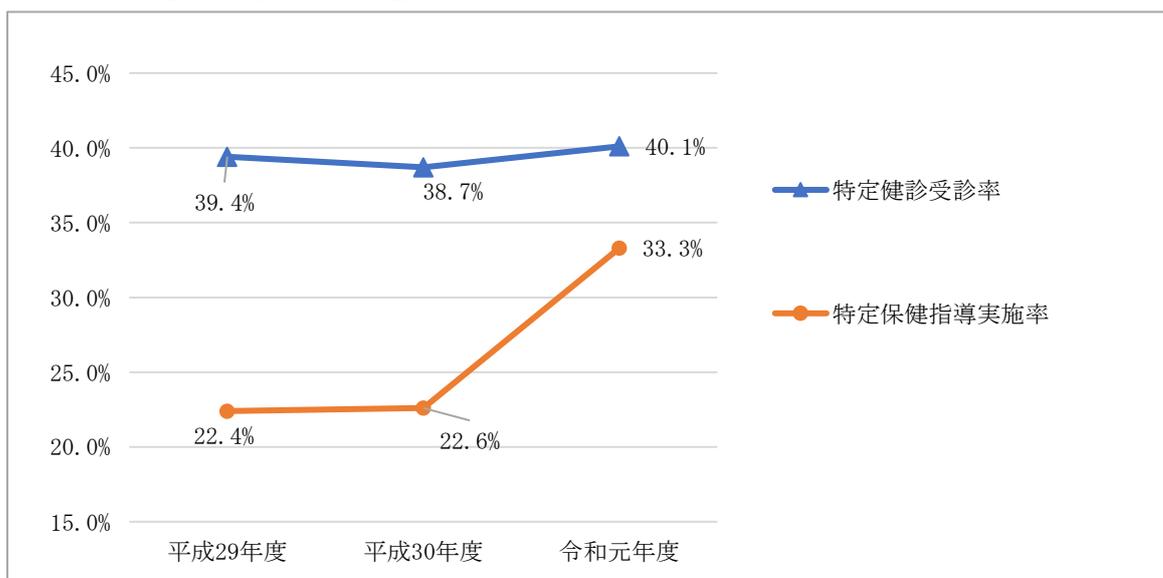
資料：平成30年度青森県保健統計年報

【2】健診データからみた変化

（1）特定健診受診率・特定保健指導実施率

本町の特定健診受診率は、通知勧奨等継続的な受診勧奨により、微増している。
一方、特定保健指導実施率は、利用勧奨効果により、令和元年度に33.3%となった。

図表2 特定健診受診率・特定保健指導実施率



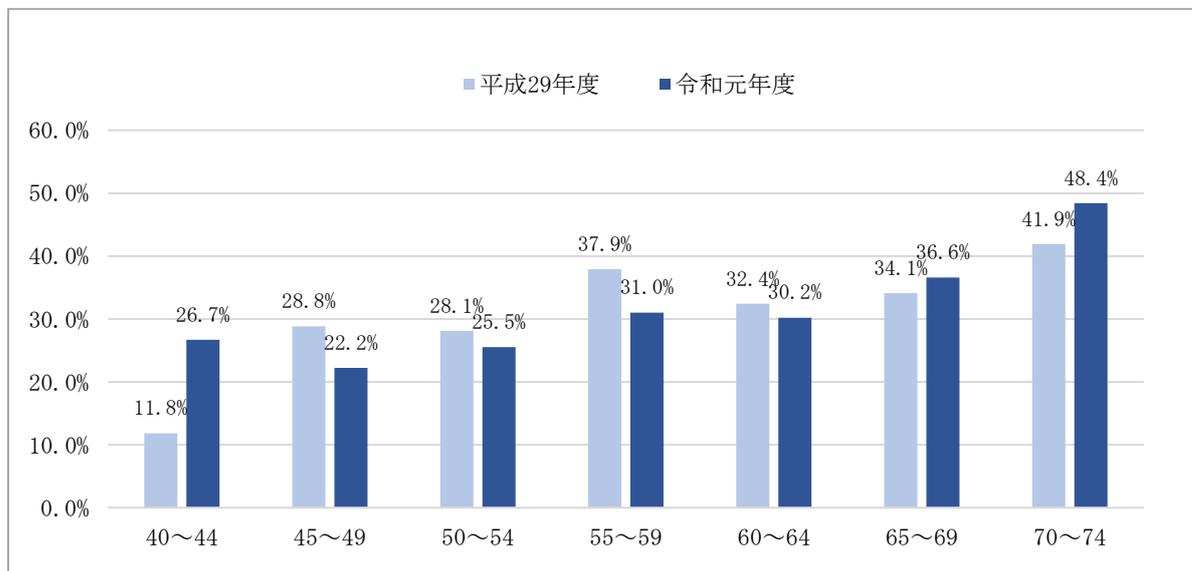
資料：特定健診・特定保健指導実施結果報告（令和2年度）

(2) 性別・年代別特定健診受診率

年代別の特定健診受診率をみると、男性では、40～44 歳代、65～69 歳、70 歳代が、伸びている。

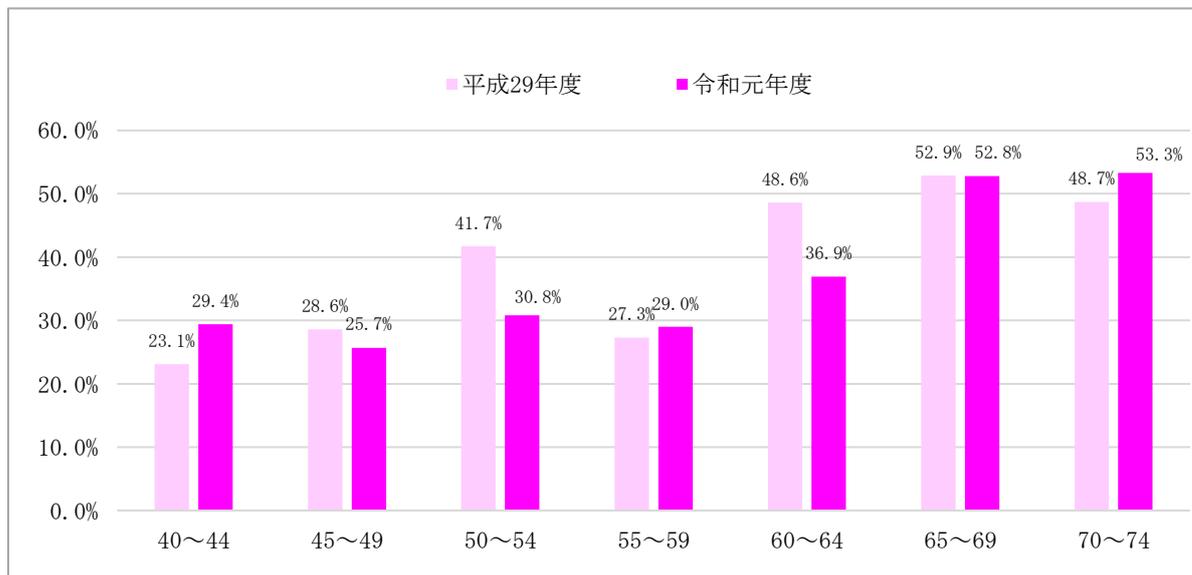
女性では、40～44 歳代、55～59 歳、70 歳代で伸びている。

図表3 年代別特定健診受診率の推移（男性）



資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成 28 年度・令和元年度）

図表4 年代別特定健診受診率の推移（女性）



資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成 28 年度・令和元年度）

(3) メタボ予備群、該当者の状況

メタボリックシンドロームの予備群、該当者の近年の状況をみると、男女ともメタボ該当者は増加傾向にある。女性については、予備群も増加傾向にある。

メタボ該当者で、血糖、血圧、脂質の3つのリスクが重なっている場合、心筋梗塞等の重症化の可能性が高まるといわれている。

女性の3つのリスクを有するメタボ該当者の割合は増加傾向にあり、令和元年度は、4.1%であり、年々増えている。

図表5 メタボ予備群、該当者の状況（男性）

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
メタボ	予備群	18.0	20.3	20.2	17.8
	該当者	23.2	28.6	30.1	28.2
メタボ予備群・該当者	腹囲のみ	7.2	4.4	7.7	6.9
	血糖のみ	1.0	2.2	3.3	2.3
	血圧のみ	11.9	13.7	13.1	11.5
	脂質のみ	5.2	4.4	3.8	4.0
	血糖＋血圧	6.7	8.8	8.2	7.5
	血糖＋脂質	1.0	2.7	3.8	2.3
	血圧＋脂質	8.2	10.4	11.5	11.5
	血糖＋血圧＋脂質	7.2	6.6	6.6	6.9

資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成28年度～令和元年度）

図表6 メタボ予備群、該当者の状況（女性）

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
メタボ	予備群	6.6	9.3	7.9	7.7
	該当者	8.0	8.8	6.8	10.7
メタボ予備群・該当者	腹囲のみ	2.8	2.9	3.7	3.6
	血糖のみ	0.9	1.0	1.6	0.5
	血圧のみ	4.2	8.3	5.3	6.6
	脂質のみ	1.4	0.0	1.1	0.5
	血糖＋血圧	1.4	2.0	1.1	3.1
	血糖＋脂質	0.9	1.0	0.5	0.5
	血圧＋脂質	4.7	3.4	3.2	3.1
	血糖＋血圧＋脂質	0.9	2.5	2.1	4.1

資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成28年度～令和元年度）

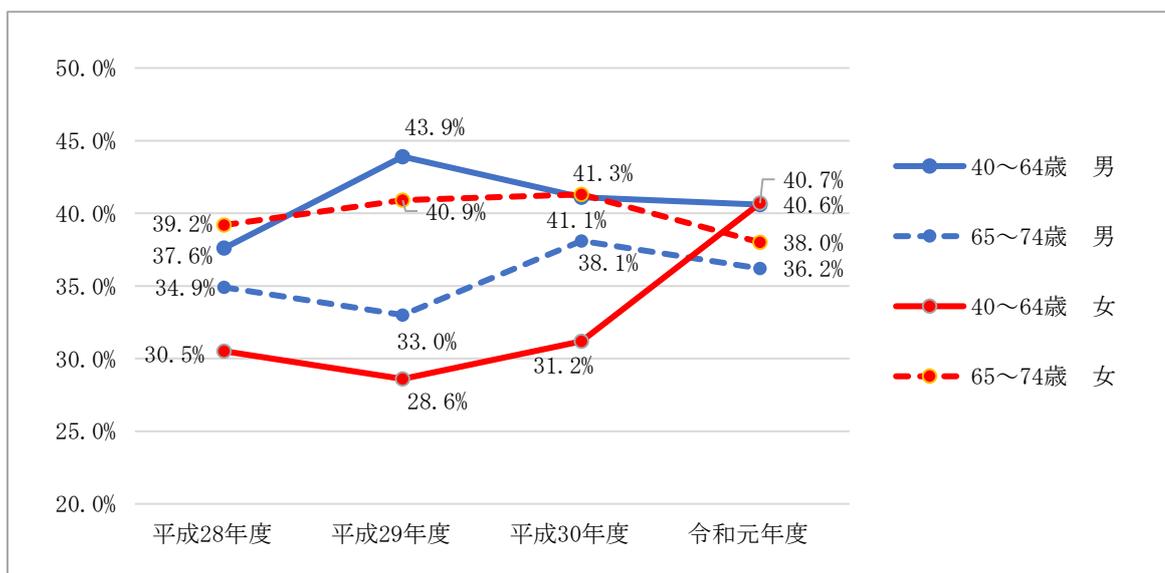
(4) 健診有所見者状況

①肥満度 (BMI25 以上)

男性～高年層 (65～74 歳) の BMI が増加傾向にある。若年層は 40% 台で高止まりしている。

女性～若年層 (40～64 歳) の BMI が大きく増えており、40% 台となっている。一方、高年層はやや低下傾向にある。

図表 7 BMI の有所見者状況



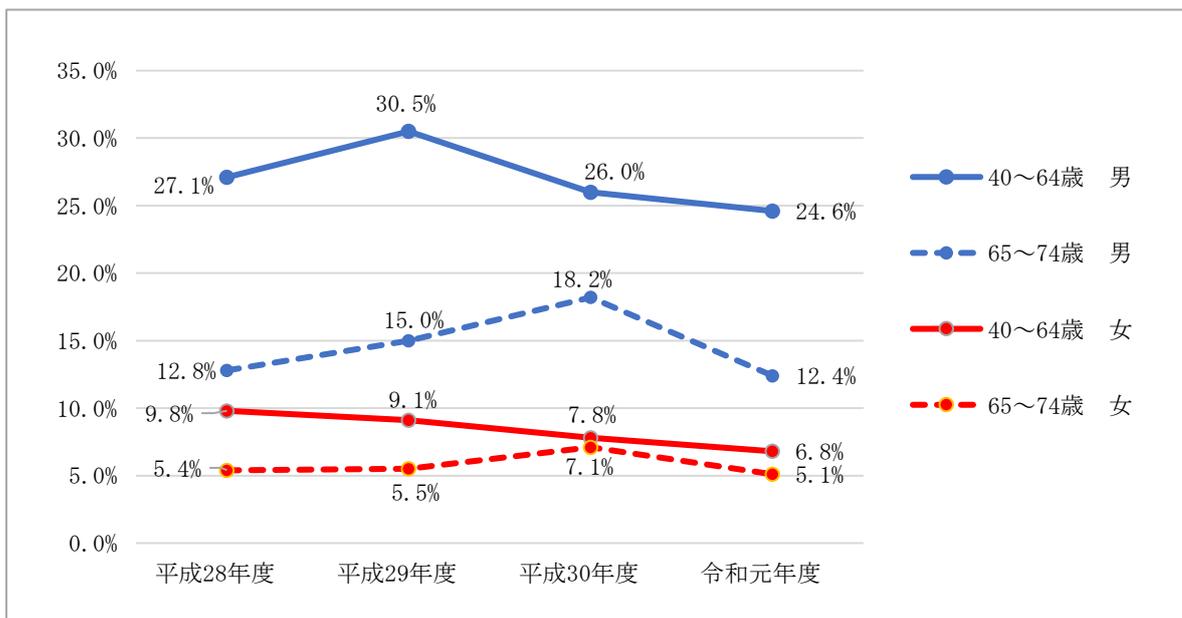
資料：KDB「厚生労働省様式 5～2」(平成 28 年度～令和元年度)

②中性脂肪 (150 以上)

男性～高年層、若年層ともやや減少傾向にある。

女性～若年層 (40～64 歳) は減少傾向にあるが、高年層は横ばいである。

図表 8 中性脂肪の有所見者状況

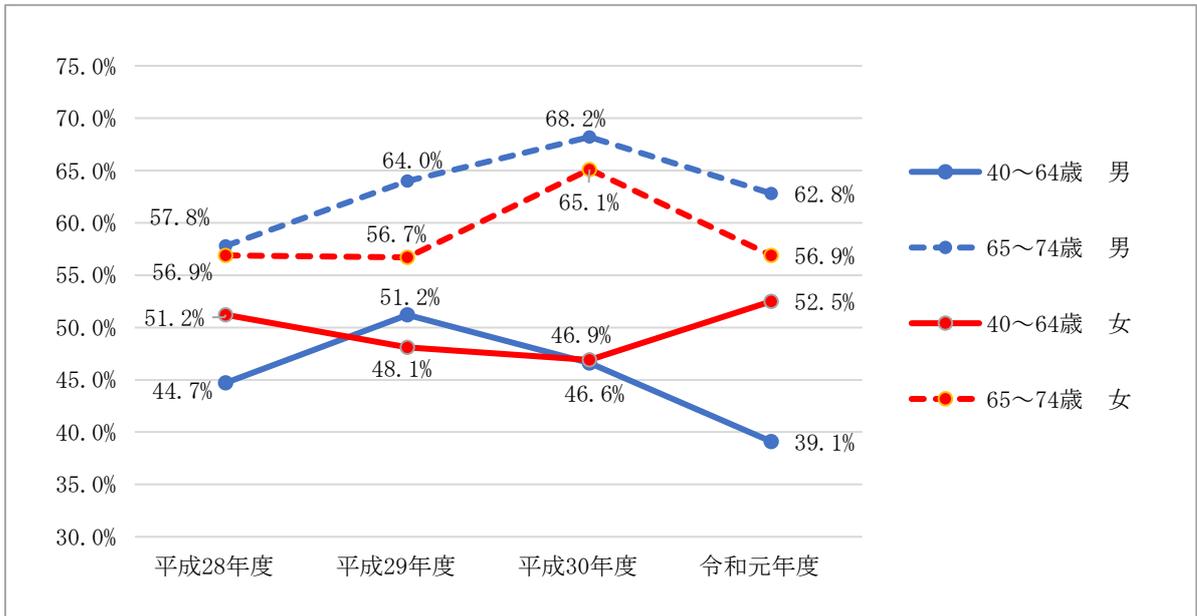


資料：KDB「厚生労働省様式 5～2」(平成 28 年度～令和元年度)

③HbA1c (5.6 以上)

男性～高年層は 60%台で高止まりしているが、若年層は、減少傾向にある。
女性～若年層（40～64 歳）は、やや増加傾向にあるが、高年層は横ばいである。

図表 9 HbA1c の有所見者状況

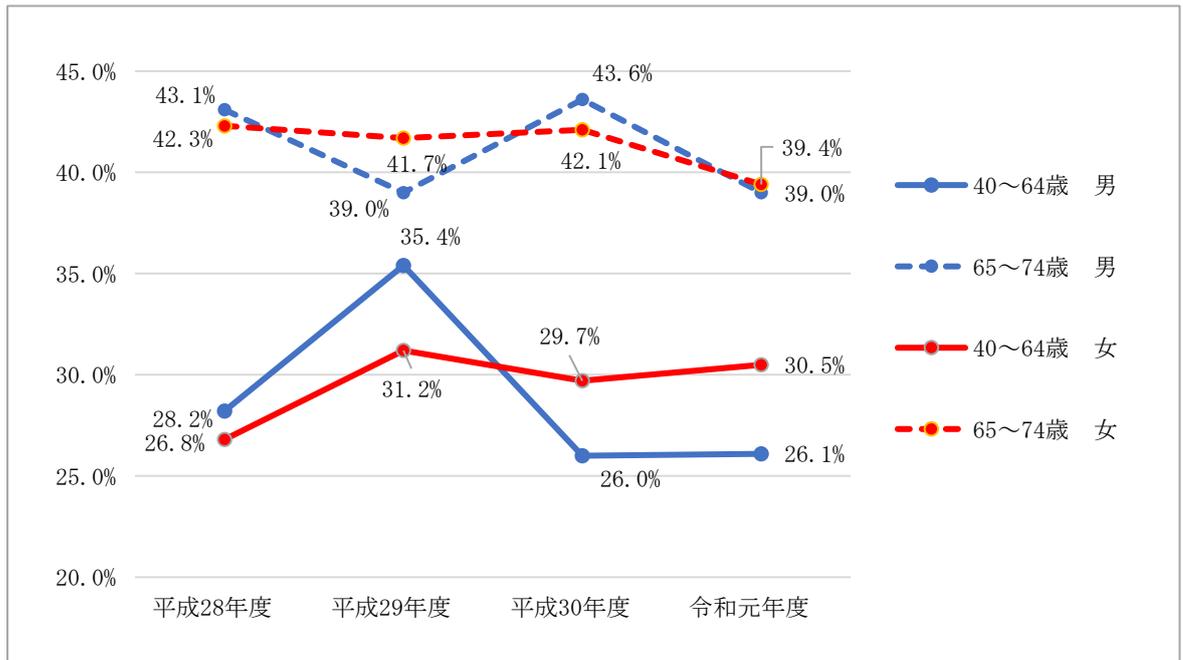


資料：KDB「厚生労働省様式 5～2」（平成 28 年度～令和元年度）

④収縮期血圧（130 以上）

男性～高年層は 40%前後で高止まりしているが、若年層は、減少傾向にある。
女性～若年層、高年層ともやや減少傾向にある。

図表 10 収縮期血圧の有所見者状況（性別・年代別）



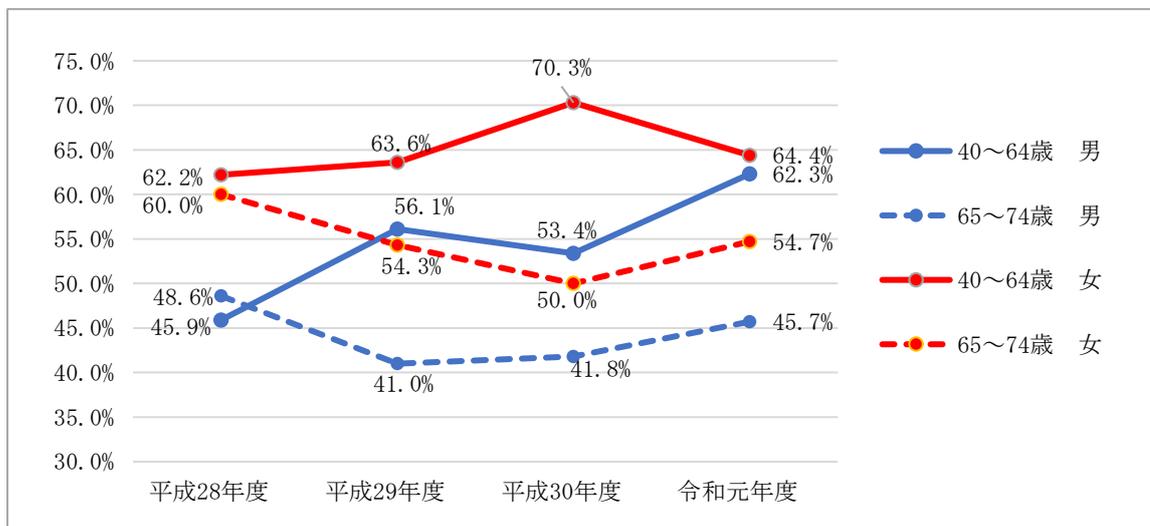
資料：KDB「厚生労働省様式 5～2」（平成 28 年度～令和元年度）

⑤LDL コレステロール（120 以上）

男性～若年層、高年層とも増加傾向にある。

女性～若年層は、微増傾向、高年層は微減傾向にある。

図表 11 LDL コレステロールの有所見者状況



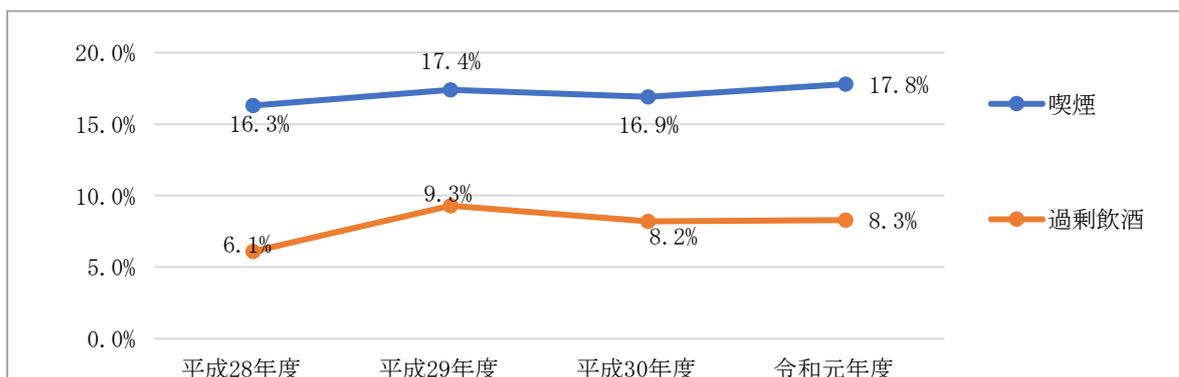
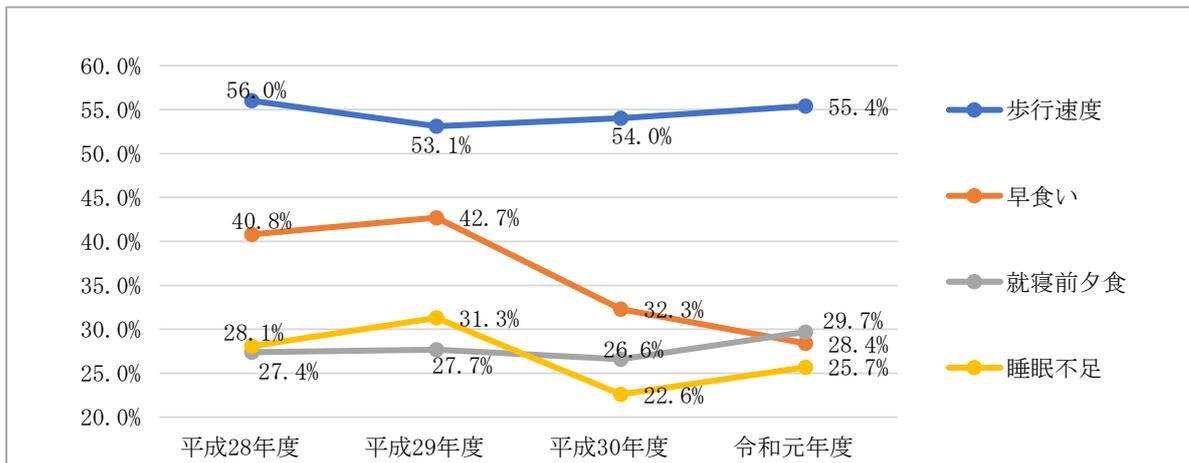
資料：KDB「厚生労働省様式 5～2」（平成 28 年度～令和元年度）

(5) 生活習慣（問診票）の変化

問診票結果の推移では、肥満に繋がりがやすい「早食い」の方が大幅に減った。

喫煙率、過剰飲酒（3 合以上）は、ほとんど改善されていない。

図表 12 問診票結果の変化

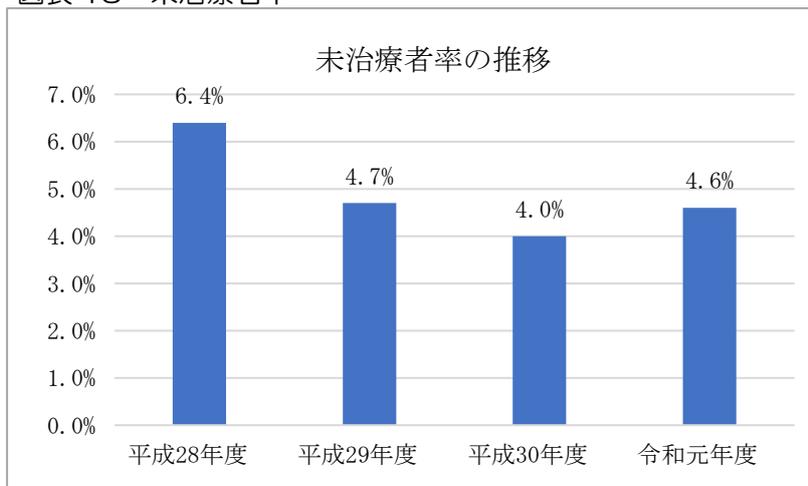


資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成 28 年度～令和元年度）

(6) 受診勧奨者の未治療者割合の変化

本町の受診勧奨者の未治療者割合は、健診後の勧奨により、減少傾向にある。

図表 13 未治療者率



資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成 28 年度～令和元年度）

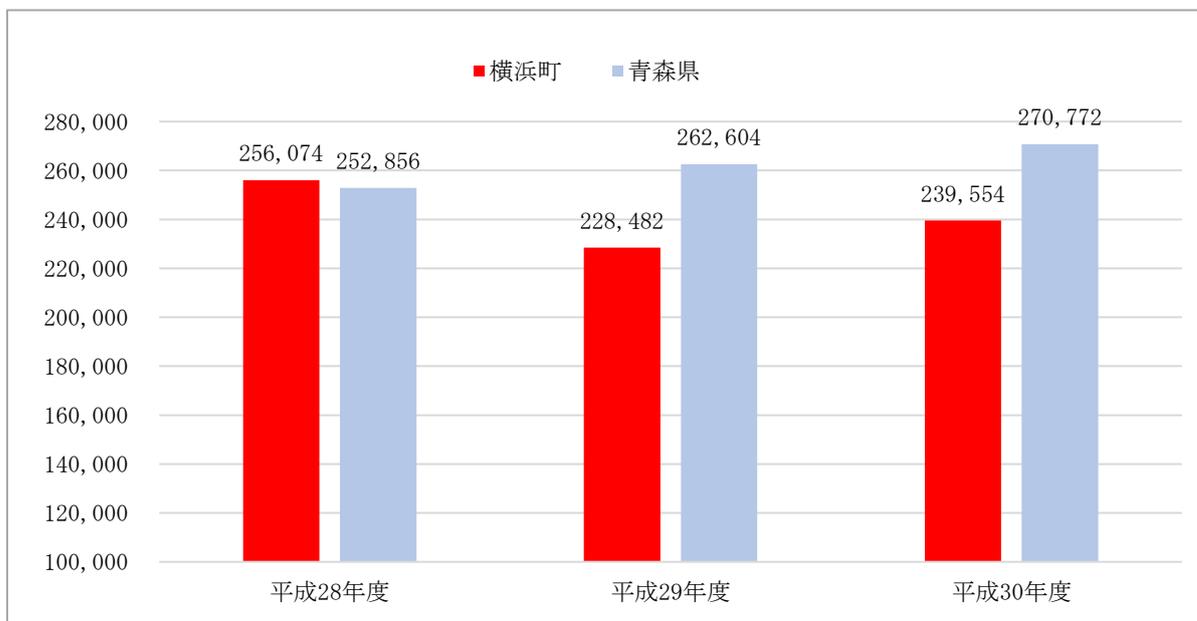
【3】医療費データからみた変化

(1) 1人当り医療費

本町の1人当り医療費は、平成28年度以降、低下傾向にあり、県平均を下回っている。

図表 14 1人当り医療費の推移

単位：円



資料：国民健康保険図鑑（平成30年度版・令和元年度版）

(2) 疾病別医療費割合の変化

①大分類別医療費

入院では「新生物」と「循環器系疾患」が上位を占める傾向にある。

外来では糖尿病・脂質異常症など内分泌が常に1位を占めており、次いで「循環器系疾患」、糖尿病の重症化による慢性腎不全など「尿路性器」が3位となっている。

図表 15 大分類別医療費割合の推移（入院）

順位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1位	新生物	19.5%	新生物	21.4%	循環器	30.9%	新生物	42.8%
2位	循環器	15.6%	循環器	20.6%	新生物	26.7%	精神	16.4%
3位	筋骨格	14.9%	精神	9.9%	消化器	9.7%	消化器	7.8%
4位	精神	11.5%	消化器	9.7%	精神	5.6%	神経	7.4%
5位	消化器	11.0%	呼吸器	8.0%	神経	5.6%	損傷中毒	6.7%
6位	その他	27.5%	その他	30.4%	その他	21.5%	その他	18.9%

資料：KDB「医療費分析（2）大、中、細小分類」（平成28年度～令和元年度）

図表 16 大分類別医療費割合の推移（外来）

順位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1位	内分泌	17.4%	内分泌	16.7%	内分泌	15.2%	内分泌	17.0%
2位	循環器	14.3%	循環器	14.3%	感染症	14.5%	循環器	13.3%
3位	尿路性器	13.4%	尿路性器	11.3%	循環器	12.2%	尿路性器	10.8%
4位	筋骨格	11.3%	筋骨格	10.4%	新生物	10.5%	新生物	10.2%
5位	新生物	8.9%	新生物	10.2%	尿路性器	9.8%	筋骨格	8.8%
6位	呼吸器	7.2%	呼吸器	7.1%	筋骨格	9.3%	呼吸器	6.4%
7位	その他	27.5%	その他	30.0%	その他	28.5%	その他	33.5%

資料：KDB「医療費分析（2）大、中、細小分類」（平成28年度～令和元年度）

<疾病分類（大分類）と主な疾病>

循環器系：脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、高血圧症、虚血性心疾患など

悪性新生物：胃がん、大腸がんなど

内分泌：糖尿病など

尿路性器：慢性腎不全など

消化器系：胃潰瘍、胆石症、大腸ポリープなど

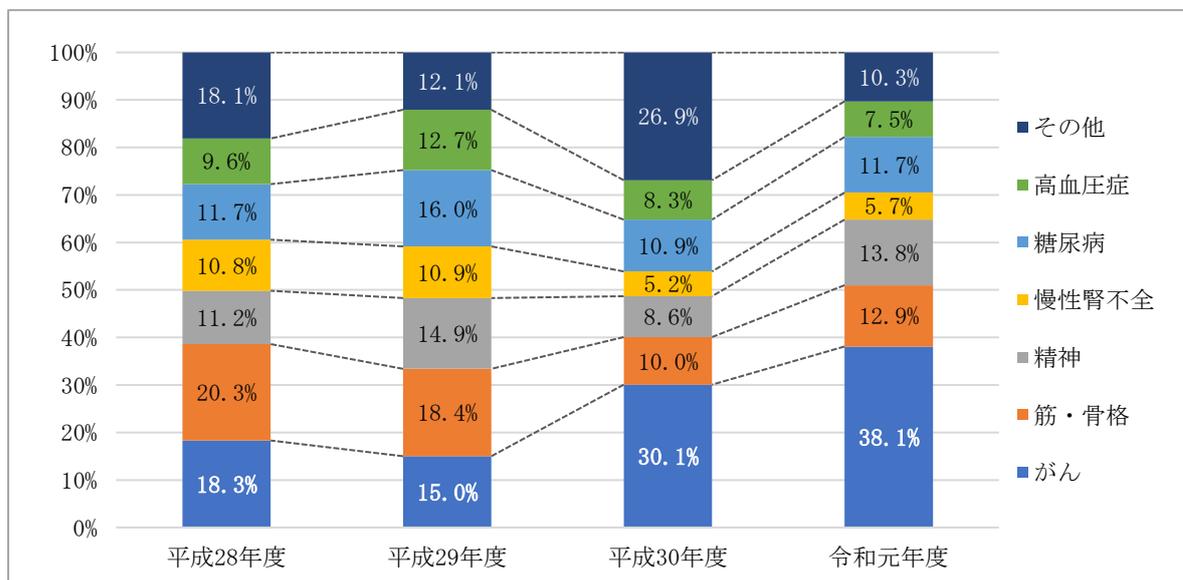
筋骨格系：関節症、骨粗しょう症など

損傷中毒：骨折など

②疾病別医療費（最大医療資源傷病名による、調剤報酬を含む）割合の変化

最大医療資源傷病名による疾病割合の変化をみると、がんの割合が大きく増えている。令和元年度のがんの医療費割合は平成29年度比2.5倍となっている。

図表 17 医療費割合（最大医療資源傷病名による、調剤報酬を含む）



資料：KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（平成28年度～令和元年度）

(3) 生活習慣病の医療費（細小分類）推移

生活習慣病の細小分類の入院医療費（5月診療分）をみると、平成30年度、令和元年度は、がんの医療費が突出している。高額な医療費がかかったものと思われる。

外来では、糖尿病にかかる医療費が多くなっている。

図表 18 生活習慣病の細小分類医療費（入院）

単位：円

順位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	筋・骨格 1,934,460	精神 1,892,540	がん 4,129,260	がん 5,711,440
2位	脳梗塞 1,608,020	がん 1,553,820	動脈硬化症 2,936,460	精神 2,192,340
3位	精神 1,395,570	脳梗塞 1,000,720	精神 872,290	筋・骨格 797,210
4位	脳出血 792,980	筋・骨格 811,240	脳出血 856,080	脳梗塞 680,580
5位	がん 778,970		脳梗塞 499,900	

資料：KDB：「医療費分析（1）細小分類」（平成28年度～令和元年度）

図表 19 生活習慣病の細小分類医療費（外来）

単位：円

順位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	がん 3,439,740	糖尿病 3,221,770	がん 2,509,170	糖尿病 2,413,880
2位	筋・骨格 2,738,070	筋・骨格 2,893,350	糖尿病 2,415,490	がん 2,164,390
3位	糖尿病 2,683,650	高血圧症 2,558,950	筋・骨格 2,215,590	筋・骨格 1,870,330
4位	高血圧症 2,216,120	がん 1,468,580	高血圧症 1,831,940	高血圧症 1,551,970
5位	脂質異常症 1,399,580	脂質異常症 1,182,820	脂質異常症 1,073,020	脂質異常症 1,055,120

資料：KDB：「医療費分析（1）細小分類」（平成28年度～令和元年度）

(4) 主要生活習慣病の男女別患者数の推移

- ①糖尿病～男女とも患者数の比率は微増傾向である。令和元年度と平成 29 年度を比較すると男性が 0.7%増、女性が 1.3%増となっている。
- ②高血圧～男女とも患者数の比率は増加傾向である。令和元年度と平成 29 年度を比較すると男性が 2.1%増、女性が 0.8%増となっている。
- ③虚血性心疾患～男女とも患者数の比率は減少傾向にある。令和元年度と平成 29 年度を比較すると男性が 0.7%減、女性が 0.7%減となっている。
- ④脳血管疾患～男性の患者数の比率は横ばい、女性は減少傾向にある。令和元年度と平成 29 年度を比較すると男性が±0%、女性が 0.3%減となっている。
- ⑤人工透析～男女ともほとんど増減なし。

図表 20 主要生活習慣病の男女別患者数の推移

	性別	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		人数	率	人数	率	人数	率
糖尿病	男性	82	10.0%	82	10.7%	78	10.7%
	女性	66	9.3%	71	10.8%	68	10.6%
	計	148	9.6%	153	10.8%	146	10.6%
高血圧	男性	172	20.9%	181	23.7%	168	23.0%
	女性	177	24.9%	180	27.5%	165	25.7%
	計	349	22.7%	361	25.5%	333	24.2%
虚血性心疾患	男性	27	3.3%	31	4.1%	19	2.6%
	女性	18	2.5%	17	2.6%	11	1.7%
	計	45	2.9%	48	3.4%	30	2.2%
脳血管疾患	男性	36	4.4%	34	4.5%	32	4.4%
	女性	29	4.1%	23	3.5%	22	3.4%
	計	65	4.2%	57	4.0%	54	3.9%
人工透析	男性	4	0.5%	3	0.4%	3	0.4%
	女性	1	0.1%	1	0.2%	1	0.2%
	計	5	0.3%	4	0.3%	4	0.3%

資料：KDB「厚生労働省様式（様式3-2～7）」（平成 29 年度～令和元年度）

(5) 糖尿病患者の重症化状況

糖尿病の重症化による糖尿病合併症、脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析の患者数は、減少傾向にある。

図表 21 糖尿病患者の重症化状況

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	人数	率	人数	率	人数	率
インスリン療法	20	13.5	14	9.2	15	10.3
糖尿病性腎症	5	3.4	3	2.0	2	1.4
糖尿病性網膜症	10	6.8	11	7.2	10	6.8
糖尿病性神経障害	4	2.7	2	1.3	5	3.4
脳血管疾患	16	10.8	12	7.8	14	9.6
虚血性心疾患	17	11.5	20	13.1	14	9.6
人工透析	1	0.7	0	0.0	0	0.0

資料：KDB「厚生労働省様式（様式3-2）」（平成29年度～令和元年度）

(6) 高血圧症患者の重症化状況

高血圧症が重症化することにより、脳血管疾患、虚血性心疾患となるが、出現率は減少傾向にある。

図表 22 高血圧症患者の重症化状況

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	人数	率	人数	率	人数	率
脳血管疾患	48	13.8	43	11.9	42	12.6
虚血性心疾患	37	10.6	37	10.2	25	7.5
人工透析	5	1.4	4	1.1	4	1.2

資料：KDB「厚生労働省様式（様式3-3）」（平成29年度～令和元年度）

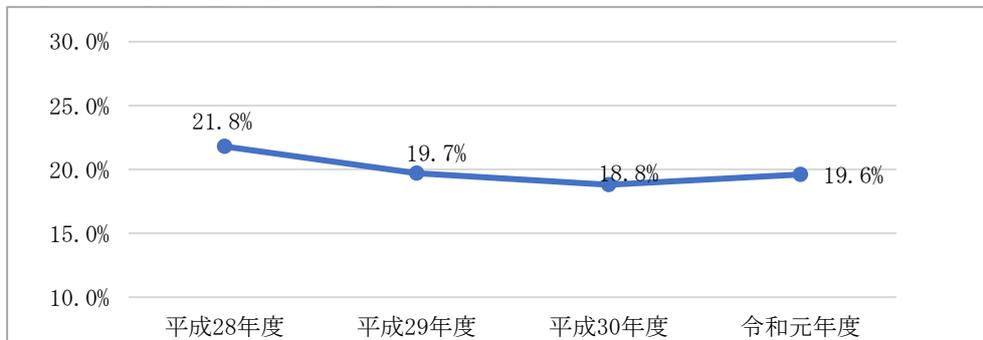
【4】介護データからみた変化

(1) 要介護認定率・介護給付費の状況

本町の要介護認定率は、やや低下傾向にある。

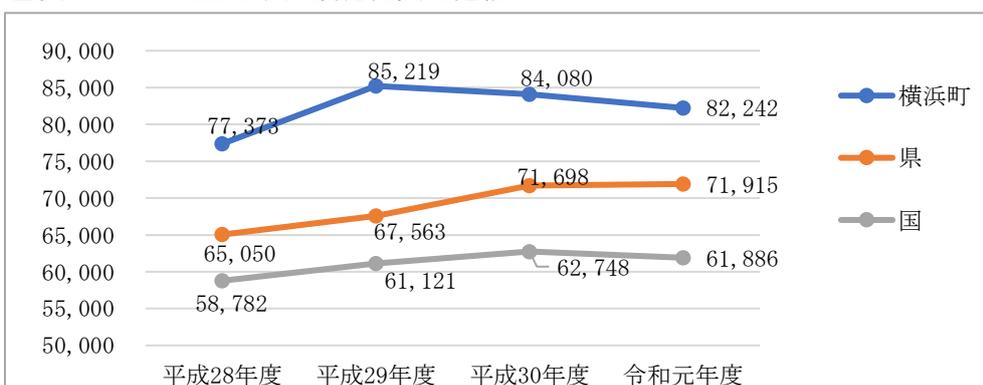
一方、1人当たりの介護給付費は、国、県より高く、横ばい状況にある。

図表 23 要介護認定率（1号）の推移



資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成28年度～令和元年度）

図表 24 1人当たり介護給付費の推移



資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成28年度～令和元年度）

(2) 要介護認定者の有病状況

本市の要介護認定者の疾病別有病状況をみると、心臓病、高血圧症の有病率が高く、高い水準で推移している。

図表 25 要介護認定者の有病率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
糖尿病	13.9%	13.4%	16.3%	14.2%
高血圧症	50.9%	52.7%	54.9%	51.4%
脂質異常症	17.8%	18.8%	21.0%	18.1%
心臓病	56.2%	56.3%	57.1%	57.4%
脳血管疾患	27.5%	26.8%	26.6%	24.5%
がん	11.5%	10.1%	9.4%	9.4%
筋骨格	47.9%	43.5%	42.0%	39.6%
認知症	20.1%	16.7%	21.0%	25.4%

資料：KDB「地域の全体像の把握」（平成28年度～令和元年度）

第2章 第2期（前期）保健事業の評価・考察

【1】第2期（前期）の保健事業の取組

（1）健康課題解決のための保健事業（平成30年度～令和元年度）実施状況

平成30年度

①特定健診未受診者対策

1. 事業目的 特定健診受診率アップ
2. 対象者 平成30年度特定健康診査受診対象者 500人
3. 実施期間 平成30年8月
4. 事業内容・実施方法
 - 《1》対象者の個性(年齢・性別等)に応じた通知勧奨
40歳～70歳男女8パターン毎に勧奨コメントを記載したハガキを作成、施設検診が始まる前に郵送。
 - 《2》地区組織と連携した受診勧奨を目的とした健康集会
簡易健康測定を活用し個別生活習慣改善指導と同時に受診勧奨を実施。
実施日～10月28日 会場：横浜町ふれあいセンター
実施者数～49人

②特定健診受診者のフォローアップ(特定健診継続受診対策)

1. 事業目的 特定健診継続受診率アップ、健診数値改善・生活習慣病予防
2. 対象者 国保加入者のうち特定健診受診対象者 300人
3. 実施期間 平成30年10月4日
4. 事業内容・実施方法
 - 《1》健診数値の見方、生活習慣病予防について専門家による講義を行った。
講師：薬剤師・健康運動指導士 長島寿恵先生 受講者数：42人
 - 《2》健診結果説明会の前後に簡易健康測定を活用した生活習慣改善指導を実施

③生活習慣病重症化予防(糖尿病性腎症を除く)

1. 事業目的 糖尿病の重症化予防、医療費の適正化。
2. 対象者 高血糖（HbA1c5.6以上）と判定された者
3. 実施期間 平成30年11月8日～12月6日
4. 事業内容
 - 《1》糖尿病予防改善基本講座（2回）実施。講師：糖尿病療養指導士・長島寿恵先生
実施日：平成30年11月8日、11月15日
 - 《2》糖尿病予防栄養講座（調理実習）の実施。
講師：管理栄養士 竹内妙子先生、麻柄千恵子先生
実施日：平成30年12月6日
 - 《3》評価
体脂肪率減少者～7人中5人（71.4%）、骨格筋量増加者～7人中5人（71.4%）
週2回以上の運動習慣が定着した者～7人中6人
週2回以上食生活改善に取り組んだ者～7人中6人

令和元年度

①特定健診未受診者対策

1. 事業目的 特定健診受診率アップ
2. 対象者 令和元年度特定健康診査受診対象者 963人
3. 実施期間 令和元年8月
4. 事業内容・実施方法
 - 《1》対象者の個性(健診データ等)に応じた通知勧奨
 - ・受診勧奨リストを作成(過去3年分の健診データ別)。963件分
 - ・受診勧奨対象者の健診データ別受診勧奨コメント及び啓発記事を作成。
 - ・受診勧奨対象者へハガキ(封筒サイズ圧着巻4つ折)を郵送。
 - 《2》地区組織と連携した受診勧奨を目的とした健康集会
簡易健康測定を活用し個別生活習慣改善指導と同時に受診勧奨を実施。
実施日～9月8日 会場：横浜町ふれあいセンター
実施者数～57人

②特定健診受診者のフォローアップ(特定健診継続受診対策)

1. 事業目的 特定健診継続受診率アップ、健診数値改善・生活習慣病予防
2. 対象者 国保加入者のうち特定健診受診対象者 300人
3. 実施期間 令和元年10月10日
4. 事業内容・実施方法
 - 《1》健診数値の見方、生活習慣病予防について専門家による講義を行った。
講師：薬剤師・健康運動指導士 長島寿恵先生 受講者数：25人
 - 《2》健診結果説明会の前後に簡易健康測定を活用した生活習慣改善指導を実施

③生活習慣病重症化予防(糖尿病性腎症を除く)

1. 事業目的 糖尿病の重症化予防、医療費の適正化。
2. 対象者 高血糖(HbA1c5.6以上)と判定された者
3. 実施期間 令和元年10月29日～12月10日
4. 事業内容
 - 《1》糖尿病予防改善基本講座(3回)実施。講師：糖尿病療養指導士・長島寿恵先生
日時と参加人数：10/29～14人,11/12～12人,11/26～14人
 - 《2》フォローアップ運動講座実施。
講師：健康運動指導士 斉藤先生
実施日：令和元年12月10日
 - 《3》評価
 - <高精度体成分測定結果>
体脂肪率減少者～7人中5人(71.4%) 骨格筋量増加者～7人中3人(42.9%)
 - <血液検査結果>
HbA1c改善者～10人中6人(60%)
 - <中間評価アンケート(11月26日実施)結果>
週2回以上食生活改善に取り組んだ者～13人中8人(61.5%)

(2) その他の保健事業（令和元年度）

①健康教育

《1》生活習慣病予防（目的～糖尿病・肥満対策）

教室名	実施回数	参加人数
生活習慣病改善スクール	4	40
地区健康教室	4	63
計	8	103

《2》運動（目的～体力づくり、肥満対策、□コモ対策）

教室名	実施回数	参加人数
中高年から続ける運動教室	1	16
大人のラジオ体操教室	2	64
運動教室	7	108
計	10	188

《3》栄養・食生活改善（肥満対策・骨粗しょう症予防）

教室名	実施回数	参加人数
食生活改善推進員協議会および研修会	1	13
骨太クッキング教室	1	19
栄養・食生活改善講話	1	27
計	3	59

《4》その他

教室名：いきいき教室

テーマ：肺炎、口腔、糖尿病、健康寿命

実施地区：新丁、大豆田、幸町、豊栄平、有畑・浜田

参加人数：72人

②健康相談

事業名	実施回数	参加人数
総合健康相談会	3	33
重点地区健康相談	3	36
吹越・中吹越地区健康相談会	1	19
よこはま元気まつり	1	39
職域健康相談会	2	55
計	10	182

③がん検診事業

《1》各種がん検診受診率（令和元年度）

	対象者数（人）	受診者数（人）	割合（％）
肺がん	1,504	600	39.9
胃がん	1,504	465	30.9
大腸がん	1,504	645	42.9
乳がん	953	192	20.1
子宮がん	2,026	329	16.2
前立腺がん	1,219	245	20.1
計	8,710	2,476	28.4

注）対象者数、受診者数は地域事業報告による

《2》精密検査受診率

	精検対象（人）	受診者数（人）	割合（％）
肺がん	25	20	80
胃がん	46	41	89.1
大腸がん	58	50	86.2
乳がん	14	13	92.9
子宮がん	6	6	100.0
前立腺がん	13	9	69.2
計	162	139	85.8

【2】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進に向けた取組

本町においては、令和3年度からの保健事業と介護予防の一体的事業開始に向けて関係機関との連携を深め、準備を進めているところである。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については、事業全体のコーディネイトを町保健師等の医療専門職が担い、医療・介護データを分析して健康課題を把握した上で、高齢者の健康課題を把握すると同時に、具体的な健康課題を抱える高齢者や閉じこもりがちな高齢者、健康状態不明な高齢者を特定し、必要に応じてアウトリーチ支援を行いながら、必要な医療・介護サービスに繋げ、高齢者の健康の増進及び健康寿命の延伸を目指している。

*厚生労働省では後期高齢者に対する健診・保健指導の在り方について次のように論じている。

後期高齢者については、生活習慣の改善による疾病の予防というよりも、QOL^{※1}を確保し、本人の残存能力をできるだけ落とさないようにするための介護予防が重要となってくる。さらに、望ましい保健指導の在り方として、後期高齢者については、本人の残存能力を落とさないこと、QOLの確保等が重要であるとともに、個々の身体状況、日常生活能力、運動能力等が異なっている場合が多いため、40～74歳と同様に一律に行動変容のための保健指導を行うのではなく、本人の求めに応じて、健康相談・指導の機会を提供できる体制が確保されていることが重要である、としている。

以上のことから、本町においては、保健事業と介護予防の一体的実施の中心は、フレイル予防とし、次の事業に取り組む計画である。

※1 QOL～肉体的、精神的、社会的、経済的、すべてを含めた生活の質を意味する。

1. ポピュレーションアプローチ

①運動指導（筋力アップ）

生活動作能力調査では、凡そ3割の高齢者が転倒の経験があり、体力に不安を抱えています。介護予防事業の多くが運動に関するものですが、より多くの高齢者が取り組むことができる事業が求められます。

②低栄養指導

栄養不足を自己認識させ、生活状況に合わせた現実的な栄養指導が求められます。訪問での個別指導、「通いの場」での集団指導の機会を増やすことが大切です。

③口腔ケア

高齢者の約30%の方が、咀嚼力に不安を抱え、20%の方が唾液の出が悪くなって誤嚥のリスクを有しています。訪問での個別指導、「通いの場」での集団指導の機会を多く設けることが必要です。

2. ハイリスクアプローチ（重症化予防対象者等に対する個別訪問指導）

下記の4つの対象者に対する訪問指導が必要です。

- ①健康状態不明者
- ②未治療・臓器障害あり
- ③重症化予防
- ④介護予防

【3】第2期データヘルス計画の短期目標達成状況と評価（アウトプット・アウトカム）

（1）評価方法

当中間評価では、第2期データヘルス計画において挙げられた健康課題ごとに設定された目標値（アウトプット・アウトカム）との比較評価及び事業全体の評価（総合評価）を下表の判定区分によって行った。

●評価方法と判定区分

	目標値評価	総合評価
判定区分	A：すでに目標を達成 B：目標は達成できていないが、達成の可能性が高い C：目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある D：目標の達成は困難で、効果があるとは言えない E：評価困難	A：うまくいっている B：まあ、うまくいっている C：あまりうまくいっていない D：まったくうまくいっていない E：わからない

（2）事業別短期目標の達成状況と評価

1. 脳血管疾患及び高血圧対策

取組内容		短期目標・達成状況・評価
①減塩指導 ②情報提供（リーフレット送付） ③高血圧予防のための運動教室 ④健診受診者のフォローアップ （健診結果説明会）	アウトプット	【目標】 1. 減塩指導を受ける人を年間30人とする 2. 高血圧症予防改善啓発リーフレットの配布 毎年全対象者 【結果】 健康相談時に減塩指導（令和2年度182人実施） 目標値評価：A
	アウトカム	【目標】 1. 脳血管疾患医療費の伸びを30年度比3%以内とする 2. 高血圧症患者数の伸びを30年度比1%以内とする 3. 収縮期血圧有所見者割合を男女とも30%以内とする 【結果】 1. 脳梗塞医療費の伸び 令和元年度対平成30年度：36%増（P9参照） 2. 高血圧症患者数の伸び 平成30年度：361人→令和元年度：333人 7.7%減 3. 収縮期血圧有所見者割合（令和元年度） 男性：33.9% 女性：36.7% 目標値評価：B
		総合評価：B

2. 糖尿病予防及び重症化予防対策

取組内容		短期目標・達成状況・評価
①糖尿病予備群及び重症化予防患者を対象とした介入プログラム（2～3ヶ月間）専門家による講義（運動・栄養・睡眠等） ②情報提供（リーフレット送付） ③健診受診者のフォローアップ（健診結果説明会） ④糖尿病ハイリスク者（HbA1c7.0以上）を対象とした訪問による保健指導（町保健師）	アウトプット	【目標】 1. 糖尿病早期患者・予備群対象プログラム参加者 年間平均 20人 2. 糖尿病重症化予防対象者への訪問数 年間平均 10人 3. 糖尿病予防改善啓発リーフの配布 毎年全対象者 【結果】 1. 糖尿病早期患者・予備群対象プログラム参加者 令和元年度：14人 2. 糖尿病重症化予防対象者への訪問数 令和元年度：未実施、令和2年度：実施 目標値評価：B
	アウトカム	【目標】 1. 男性若年層 HbA1c 有所見者割合を 45%以内とする 2. 女性若年層 HbA1c 有所見者割合を 40%以内とする 【結果】 1. 男性若年層 HbA1c 有所見者割合～62.8%（令和元年度） 2. 女性若年層 HbA1c 有所見者割合～52.5%（令和元年度） 目標値評価：C
	総合評価：C	

3. 肥満対策

取組内容		短期目標と達成状況
①運動の普及啓発（ウォーキング等）実施 ②過食や間食、早食いなど食生活改善のための講座 ③情報提供（リーフレット送付） ④健康イベントでの肥満解消のための啓蒙活動 ⑤肥満者を対象にした継続的運動教室の実施	アウトプット	【目標】 1. 肥満解消を目的とした食生活改善講座への参加 30人 2. メタボ改善啓発リーフの配布 毎年全対象者へ 3. 定期的運動教室の年平均参加者数 20人以上 【結果】 1. 肥満解消を目的とした食生活改善講座への参加 令和元年度参加人数：40人 2. 定期的運動教室の年平均参加者数 令和元年度貯金教室平均参加人数：10.8人 目標値評価：B
	アウトカム	【目標】 1. 男性BMI 有所見者割合を 35%以内とする 2. 女性BMI 有所見者割合を 25%以内とする 【結果】 1. 男性BMI 有所見者割合～37.9%（令和元年度） 2. 女性BMI 有所見者割合～38.8%（令和元年度） 目標値評価：C
	総合評価：C	

4. 喫煙・過剰飲酒対策

取組内容		短期目標と達成状況
①喫煙者および家族を対象にした健康講話 ②健康イベントでの禁煙及び過剰飲酒に関する啓発	アウトプット	【目標】 1. 禁煙に関する健康講演会の開催 30人 2. 過剰飲酒の弊害に関する健康講演会の開催 30人 【結果】 よこはま元気まつりにて禁煙・飲酒啓発 39人 目標値評価：A
③健診後のフォローアップ時での禁煙指導 ④アルコールの害に関する啓蒙活動 ⑤商工会等外部機関と連携した啓蒙活動	アウトカム	【目標】 1. 喫煙率を16%以下とする 2. 過剰飲酒の割合を9%以下とする 【結果】 1. 喫煙率～17.8%（令和元年度） 2. 過剰飲酒の割合～8.3%（令和元年度） 目標値評価：B
		総合評価：B

5. がん予防対策

取組内容		短期目標と達成状況
①検診受診率向上のための受診勧奨 ②健康イベントでのがんに関する啓発	アウトプット	【目標】 1. 受診対象者全員に対し通知勧奨を行う 年1回以上 2. 未受診者等をターゲットにした通知勧奨 年1回以上 【結果】 1. 受診対象者全員に対し通知勧奨 1回 2. 未受診者等をターゲットにした通知勧奨 1回 目標値評価：A
③がんに関する情報提供（リーフレット等） ④がん検診促進を目的とした健康講演会の実施	アウトカム	【目標】 1. がん検診受診率30%以上、精密検査受診率80%以上 2. がんの医療費の伸びを30年度比3%以内とする。 【結果】 1. がん検診受診率28.4%、精密検査受診率85.8% 2. がんの医療費伸び率 18% 平成30年（5月）：6,638千円 →令和元年（5月）：7,875千円 目標値評価：C
		総合評価：B

6. 若年層の健診受診率アップ

健康課題		短期目標と達成状況
①通知による個別勧奨 ②電話や訪問による受診勧奨 ③健康イベント等での受診勧奨	アウトプット	【目標】 1. 未受診者全員に対し通知勧奨を行う 年 1 回以上 2. 若年層等をターゲットにした通知勧奨 年 1 回以上 3. 受診勧奨を目的とした健康集会の開催 100 人参加 【結果】 1. 未受診者全員に対する通知勧奨の実施 1 回 2. 若年層等をターゲットにした通知勧奨 1 回 3. 受診勧奨を目的とした健康集会の開催 39 人参加 <b style="color: red;">目標値評価：A
	アウトカム	【目標】 1. 男性 40～59 歳代の健診受診率を 30%以上とする 2. 女性 40～59 歳代の健診受診率を 35%以上とする 3. 令和 2 年度の特定健診受診率 50% 【結果】 1. 令和元年度の男性 40～59 歳代の健診受診率 40～44 歳 26.7% 45～49 歳 22.2% 50～54 歳 25.5% 55～59 歳 31.0% 2. 女性 40～59 歳代の健診受診率 40～44 歳 29.4% 45～49 歳 25.7% 50～54 歳 30.8% 55～59 歳 29.0% 3. 令和元年度の特定健診受診率 40.1% <b style="color: red;">目標値評価：C
	<b style="color: red;">総合評価：C	

(3) 保険者努力支援制度における得点及び評価

国は、医療費適正化や健康づくりに取り組む市町村国保へのインセンティブ制度として、平成30年度より「保険者努力支援制度」を本格実施している。

評価指標については、毎年の実績や実施状況に応じて見直すこととしているが、「特定健診受診率・特定保健指導実施率」や「糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況」が高く配点されている。

本町では、「糖尿病等の重症化予防の取組」や「後発医薬品の促進」に積極的に取り組むなど一部の項目で高得点となっているが、配点の最も高い「特定健診受診率・特定保健指導実施率」は、令和2年度30点（190点満点）となっており、今まで以上の対策が必要である。

●各指標実績

指標NO	内容	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		満点	得点	得点率	満点	得点	得点率	満点	得点	得点率
指標1	特定健診受診率・特定保健指導実施率・メタボ該当者及び予備群の減少率	150	50	33.3%	150	65	43.3%	190	30	15.8%
指標2	がん検診受診率・歯周疾患(病)検診受診率	55	40	72.7%	55	55	100.0%	70	33	47.1%
指標3	糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況	100	0	0.0%	100	0	0.0%	120	80	66.7%
指標4	個人インセンティブ・分かりやすい情報提供	95	80	84.2%	90	75	83.3%	110	95	86.4%
指標5	重複服薬者に対する取組の実施状況	35	0	0.0%	50	50	100.0%	50	50	100.0%
指標6	後発医薬品の促進の取組・使用割合	75	10	13.3%	135	65	48.1%	130	126	96.9%
合計		510	180	35.3%	580	310	53.4%	670	414	61.8%
指標1	収納率向上に関する取組の実施状況	100	25	25.0%	100	10	10.0%	100	0	0.0%
指標2	データヘルス計画策定状況	40	19	47.5%	50	26	52.0%	40	38	95.0%
指標3	医療費通知の取組の実施状況	25	25	100.0%	25	5	20.0%	25	25	100.0%
指標4	地域包括ケア推進の取組の実施状況	25	4	16.0%	25	0	0.0%	25	15	60.0%
指標5	第三者求償の取組の実施状況	40	27	67.5%	40	31	77.5%	40	31	77.5%
指標6	適正かつ健全な事業運営の実施状況	50	14	28.0%	60	18	30.0%	95	64	67.4%
合計		280	114	40.7%	300	90	30.0%	325	173	53.2%

【4】ストラクチャー・プロセス評価

データヘルス計画では、下表の指標に基づいて評価することになっている。

従来の保健事業では、アウトプット評価やアウトカム評価については行われてきたが、ストラクチャー評価やプロセス評価については実施されることは稀であった。

今回の中間評価（平成30年度～令和2年度国保ヘルスアップ事業を評価）では、次頁の評価基準表を用い、3段階で評価を行った。

評価の種類と内容

指標の種類	個別保健事業の目標の場合
ストラクチャー (計画立案体制・実施構成・評価体制)	保健事業を実施するためのしくみや実施体制のこと。 事業を実施するために十分な人員や予算が確保できたか、事業を実施するための関係者との連携ができたか、など。
プロセス (保健事業の実施過程)	保健事業の目的や目標の達成に向けた過程(手順)のこと。 保健事業を実施する上での準備状況、実際の保健事業の進め方・内容、保健事業の事後フォローの実施方法が適切であったか、など。
アウトプット (保健事業の実施状況・実施量)	事業実施量に関すること。 勧奨はがき配布数、回数や参加者数、など。
アウトカム (成果)	事業による成果のこと。 特定健診の受診率や特定保健指導の利用率が何ポイント向上したか、新規人工透析導入者数が何%(何ポイント)減少したか、など。

出典：第2期データヘルス計画策定に向けたサポートシート（国民健康保険中央会より）

ストラクチャー指標・プロセス指標の評価基準に基づく評価

段階	項番	評価項目	評価				評価理由
			a	b	c	該当なし	
I 事業企画・立案	企画立案	I-1	健診データなどに基づき現状分析している	○			第1期、第2期データヘルス計画策定時にKDB分析
		I-2	現行実施している保健事業の評価をしている	○			国保ヘルスアップ事業において評価
		I-3	健康課題を明確にしている	○			第2期データヘルス計画において明確化
		I-4	地域資源を把握している	○			施設の有効活用
		I-5	事業目的を明確にしている	○			健康課題に合わせて目的を明確にしている
		I-6	事業目的に応じた各種保健事業を企画している	○			事業量、質とも十分である
		I-7	個別事業の優先順位をつけている	○			肥満、糖尿病対策を優先
		I-8	企画段階から庁内外の関係者と検討している	○			外部委託先との連携は十分である
		I-9	目的に応じた対象者選定基準を設定している	○			健診データ等フル活用している
		I-10	個別事業及び全体としての目標を設定している	○			第1期、第2期データヘルス計画策定時に目標設定
		I-11	事業の評価指標・評価方法を設定している	○			第1期、第2期データヘルス計画策定時に評価方法設定
		I-12	事業運営委員会で運営状況整理の体制がある		○		
		I-13	関係者と調整しスケジュールを立てている	○			外部委託先、国保、衛生部門との連携は十分である
		I-14	保健事業の質の確保のための取り組みをしている	○			事業ごとにモニタリングを行い、まめに評価している
	準備	I-15	事業に必要な予算を確保している	○			国保事業予算だけでなく一般会計でも予算計上
		I-16	関係課・機関と連携・調整し体制を構築している	○			町民課と衛生部門との連携は緊密である
		I-17	個別事業の具体的実施手順を関係者で共有	○			年度当初に入念な関係者会議を開催
		I-18	苦情処理の体制を確保している		○		
		I-19	計画に基づいた参加者の募集をしている	○			参加を促す通知勧奨を行っており常に計画通り募集できている
II 事業実施	II-1	事業開始時から関係者間で情報共有している	○			頻繁に連絡を取り合い情報共有できている	
	II-2	参加者個人の目標を設定している		○		糖尿病介入プログラムではできている	
	II-3	保健指導実施者が参加者個人の目標をモニタリング		○		介入時にモニタリングを行っている	
	II-4	事業責任者が事業実施状況をモニタリング		○		保健指導実施者とともに実施している	
	II-5	脱落防止のために対象者にフォローしている		○		保健師等でフォローしている	
	II-6	安全管理に留意している		○			
	II-7	個人情報適切に管理している	○				
	II-8	個人目標の達成状況を評価している		○		全体評価だけでなく個人別に評価を実施	
	II-9	保健指導終了後のフォローアップを行っている		○			
III 評価	III-1	事業評価を実施している	○			国保ヘルスアップ事業では4つの評価を行っている	
	III-2	事業結果を取りまとめている	○			外部機関、村、それぞれ事業結果をまとめている	
	III-3	外部アドバイザーの評価を受けている			○		
	III-4	事業結果を公表できる			○		
	III-5	次年度計画に向けた改善点を明確にしている	○			事業終了後に関係者会議を実施し、改善点を明確にしている	

横浜町第2期データヘルス計画中間評価報告書
《平成30年度～令和2年度》

発行 青森県 横浜町 令和3年3月

編集 横浜町 町民課

住所 〒039-4145
青森県上北郡横浜町字寺下35
電話 0175-78-2111 (代表)
Fax 0175-78-2118